

健康医療部 健康推進室 健康づくり課  
 担当者 吉永、赤木、山本 内線 6029  
 kenkodukuri-g03@sbox.pref.osaka.lg.jp

## 府民の「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を推進

～【重点】おおさか健活 10 推進プロジェクト事業費～

令和4年度当初予算額：8,613万2千円

### ■目的

2025年大阪・関西万博に向け、「健康づくり推進条例」、「第3次健康増進計画」に基づき、府民の健康寿命の延伸と健康格差の縮小をめざす。



### ■内容

#### 《新規》

#### ①万博と連携した健康づくりの気運醸成「広告ジャック」【1,430万7千円】

「いのち・健康」をテーマとする2025年の大阪・関西万博に向けて、ポストコロナを見据えた「新しい生活様式」に対応した健康づくりを推進するため、万博の取組みとも連携して府民に広く健康づくりをPR

⇒梅田、なんば等の主要駅構内や地下街、街頭での「広告ジャック」&「PRブース」

#### 広告ジャックイメージ



梅田駅構内



街頭ビジョン



なんば駅コンコース

#### ②ライフステージに応じた取組み、多様な主体との連携・協働【7,182万5千円】

#### ポイント

- ✓ 生活習慣病の予防等に向け、「健活10」による府民の主体的な健康づくりを推進
- ✓ 健活会議を軸とした“オール大阪体制”の推進（みんなで健活/公民で健活/ひろげる健活）
- ✓ 健康アプリ「アスマイル」と連動した事業展開

全世代	健活会議 連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健活会議（健活おおさか推進府民会議）総会を開催</li> <li>・職場や地域での健康づくりの取組みを表彰する「健康づくりアワード」を開催</li> </ul>
	健康づくり 気運醸成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健活の実践を促す啓発イベントをアスマイルと連動して開催</li> <li>・健康課題をテーマとした健康セミナーを開催</li> </ul>
若い世代	健康キャンパス・ プロジェクト事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康セミナー開催や学生主体の取組みを通じて、各大学での健康キャンパスづくりを推進</li> </ul>
働く世代 高齢者	中小企業の健康 づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業経営者や人事担当者に向けた健康経営セミナーを開催</li> <li>・効果的な取組み事例レポートの発信</li> </ul>
	健康格差の 解決プログラム 促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村間の健康格差の縮小に向け、市町村及び職域と連携し、特定健診受診率の向上、効果的な特定保健指導の実施及び実施率の向上、フレイル予防に向けたモデル事業等を実施</li> </ul>

府民の健康のため、望まない受動喫煙が生じない環境づくりを促進  
 ～【一部重点】たばこ対策推進事業費《拡充》～

令和4年度当初予算額：3億7,475万5千円

■目的

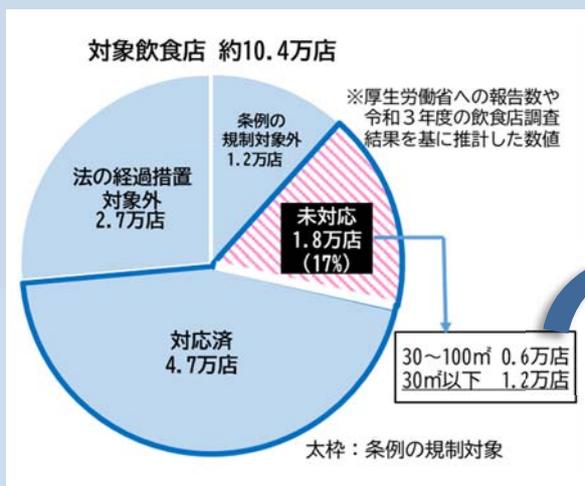
2025年の府受動喫煙防止条例の全面施行に向けて、望まない受動喫煙を生じさせることのない環境づくりをさらに促進。

■内容

**(1) 【拡充】府条例で規制対象となる飲食店への支援強化 (R4予算：約1,130件)**

- ◆ 規制対象となる飲食店に対する補助制度について、補助対象者及び補助対象経費を拡充
- ◆ 引き続き、国制度と併せたワンストップの相談窓口を設置

<「原則屋内禁煙」の取組み状況(試算)>



**2025年4月の全面施行に向け、支援策を強化  
 受動喫煙防止対策を強かに推進**

<補助制度の拡充内容>

令和4年度以降	
補助対象者	補助対象経費
・客席面積30㎡～100㎡の飲食店	・喫煙専用室等の整備費(設置・改修費) 上限300万円の3/4
<b>《拡充》</b> ・従業員を雇用する客席面積30㎡以下の飲食店	<b>《拡充》</b> ・全面禁煙化に伴う改装費等(壁紙の交換等)に係る経費 上限20万円の3/4 ※喫煙室の撤去費を伴う場合、 上限30万円

**(2) 屋外分煙所のモデル整備の促進 (R4予算：5か所)**

- ◆ 法・条例に基づく原則屋内禁煙の取組み推進していくことで、路上等屋外における喫煙が増加する懸念があることから、市町村や民間事業者と連携した「屋外分煙所」のモデル整備を促進。

<これまでの取組み>

- ・整備箇所数：11か所(目標：R6年度末20～30か所)
- ・これまでの整備事例を踏まえ、『「屋外分煙所」モデル整備のガイドライン』を作成(令和4年1月)

屋外分煙所の附帯設備(防犯カメラ、案内板等)にかかる整備費用の2分の1を補助(上限100万円)



(整備事例：寝屋川市)

健康医療部 健康推進室 国民健康保険課  
 担当者 小山・上田・山崎・國安 内線2406  
 kokuhoh@gbox.pref.osaka.lg.jp

## 府民（市町村国保）予防・健康づくりの支援強化

- 【重点】①健康づくり支援プラットフォーム整備等事業（第2期アスマイル）  
 ②特定健診受診率向上プロジェクト ③国民健康保険ヘルスアップ支援事業費

令和4年度当初予算額：①4億5,200万円  
 ②4,245万円 ③7,911万5千円

### ① 健康づくり支援プラットフォーム整備等事業（第2期アスマイル）

#### ■目的

府民の健康をサポートするアプリ「アスマイル」の普及促進を図り、インセンティブを活用した継続的かつ自発的な予防・健康づくりの促進を図るとともに、特定健診結果や歩数などのPHRデータを収集・分析し、今後の新たな保健事業へつなげる。



#### ■内容

府民一人ひとりのきっかけづくり【第1期】から、府民一丸となった健康づくりの実践【第2期】へ

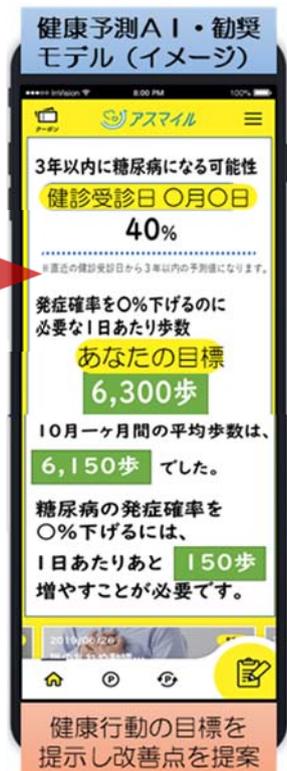
#### 第1期（H30～R3）の成果

- 【会員数】約27万人（うち国保会員約5万人）【R3.12月末現在】  
 【事業効果】利用者の行動変容効果（参加前後で1日に歩く歩数が500歩アップ）  
 特定健診受診率の向上（国保会員：約56%＞国保全体：約27%）【R2実績】

#### 第2期（R4～R7）の推進

- 【目標会員数】R7年度末時点70万人（うち国保会員約14万人）  
 【取組み方針】府民の主体的な健康づくりの促進、効率的な保健事業の展開

	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
主な機能追加	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健康予測AI・勧奨モデル構築</li> <li>●リコメンド機能（個人ごとのお知らせ機能）</li> <li>●マイナポータル・民間PHR事業者との連携（ウェアラブル端末など）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●改良版健康予測AI・勧奨モデルリリース</li> <li>●健康指標の改善にポイント付与</li> <li>●特定保健指導への活用</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●けんしん受診券機能</li> <li>●けんしん予約システム</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>EXPO2025アスマイルで「いのち輝く未来社会」を実現</li> </ul> 



R4年度末 目標会員数40万人（うち国保会員8万人）をめざす

## ②特定健診受診率向上プロジェクト

### ■目的

全国低位にある市町村国保の特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上に向けて、効果的なプロモーション手法を確立するとともに、アスマイルを活用して、国保被保険者の予防・健康づくりの充実を図る。

### ■内容

市町村・住民の実情に応じた効果的な受診勧奨方法等の確立



新

健診結果とアスマイルを活用した健康予測AI・勧奨モデルの構築

【R2】  
健診対象者に実態調査を実施



【R3】  
調査結果を踏まえた勧奨素材等を考案し実証

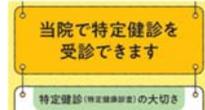


【R4】  
実証結果に基づく効果的なツールを作成し府内へ展開

- 自宅近くの健診日時等をわかりやすく案内



- 地域の医療機関等でポスター掲示



【R4】  
健診結果とアスマイルのデータを紐付け



【R5】  
アスマイルから「1日あたりあと〇〇歩増やす必要があります」と健康アドバイスを案内



到達目標

- ①特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上
- ②個人の健康指標が改善

## ③国民健康保険ヘルスアップ支援事業費

### ■目的

市町村国保との共同保険者として、被保険者の予防・健康づくりや、医療費の適正化のため、各市町村の地域や個別の課題に応じた支援を強化し、市町村における保健事業の質の向上（好事例の創出・横展開）、国の保険者努力支援制度における評価点獲得を図る。

【保健事業】特定健診、特定保健指導、生活習慣病予防事業等、健康の保持増進を目的とした事業

### ■内容（主なもの）

市町村に赴き  
助言支援



市町村保健事業への介入支援

市町村に有識者と赴き、地域診断や助言等の個別支援を実施

糖尿病性腎症重症化予防  
アドバイザー事業

専門医、かかりつけ医、市町村との連携体制構築、継続支援を実施

保健事業担当者  
の資質向上



新

保健事業の充実のための  
人材確保・支援事業

データ分析に必要な技術を獲得するための市町村保健師・栄養士等向け基礎的講座を実施

地域分析を行い  
市町村に提供



新

高齢者の保健事業と介護予防  
の一体的実施の推進

前期高齢者の健康状況・暮らしぶりについての実態を把握し、KDB等データと合わせた分析を進め、市町村の実情に応じた効果的な一体的事業の実施を推進

到達目標

- ①市町村保健事業の質の向上
- ②保険者努力支援制度の評価点獲得



市町村国保（被保険者）  
の健康課題が改善！